



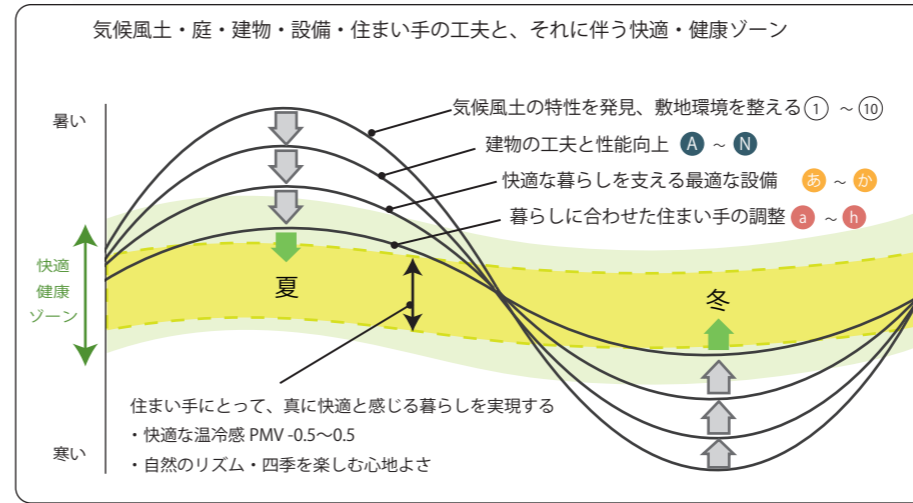
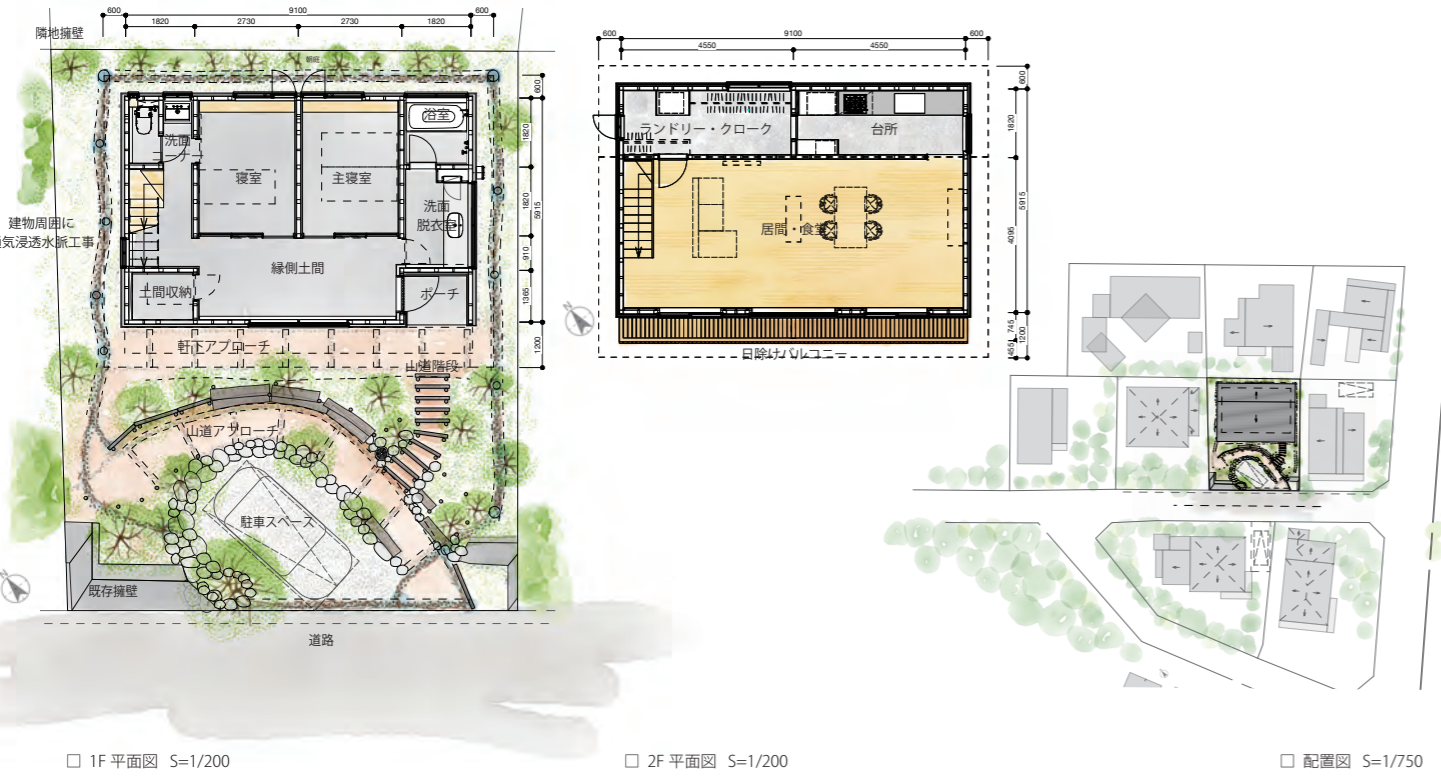
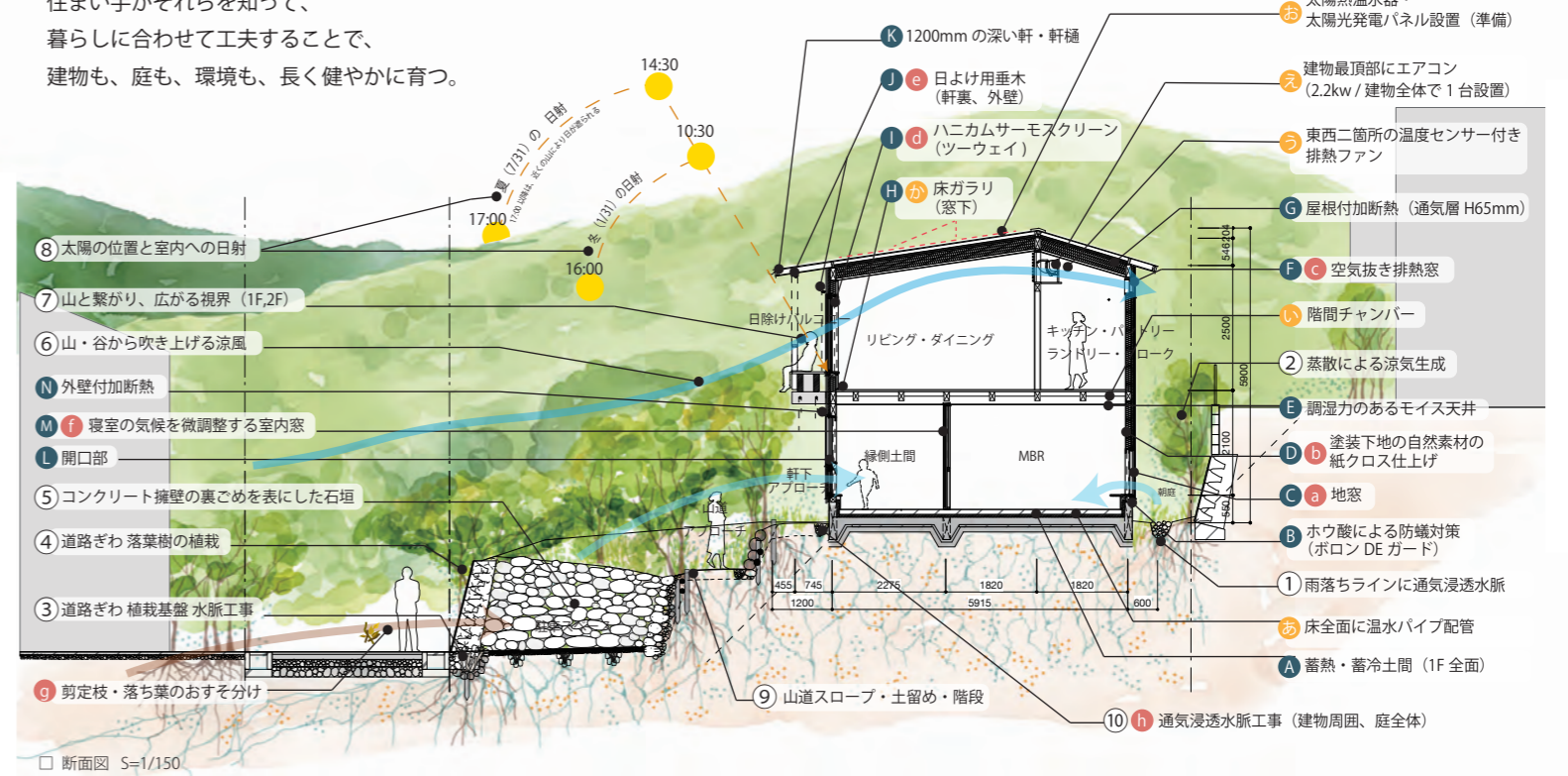
風土と共に育つ家

山登りが好きなご夫婦のための山を望む住まいである。この敷地は、眺望が良い一方でコンクリート擁壁2m、駐車スペースなしという課題をどう解決するかがポイントとなった。

一般的にはボックスカルバート工法でコンクリートガレージを造作するが、地域に開く豊かな場所にしたい、敷地全体を水はけの良い健康な土壌にしたいという思いが重なり、擁壁を取り壊し、地中を整え、最小限の駐車スペースと山道のアプローチをつくることにした。

建物だけで完結しない。あるものを生かしながら、自然との関わりの中で、住まい手の暮らしの時間軸の中で、「暮らしの器」をつくった。

気候風土を味方につけた性能向上。住まい手がそれを知って、暮らしに合わせて工夫することで、建物も、庭も、環境も、長く健やかに育つ。



建設地	神奈川県秦野市
敷地面積	182.38 m ²
延床面積	107.64 m ²
構造	木造在来工法
断熱性能	UA値：0.31W/m ² K
気密性能	C値：0.1 cm ³ /m ²
耐震性能	耐震等級3（許容応力度計算）
冷房設備	エアコン1台（2.2kw）
暖房設備	土間蓄熱温水床暖房（ヒートポンプ式）
換気設備	第一種熱交換換気
給湯設備	ガス給湯器
その他	太陽光発電パネル・太陽熱温水器（両方とも将来設置対応）



△山と繋がる美しい景観をつくる



△1階の土間。冬は太陽熱を蓄え（ダイレクトゲイン）、夏は夜間換気で庭の冷気を蓄える（ナイトバージ）



△2階の居間。眺望を楽しむと同時に、太陽光や谷間からの涼風を取り込む大開口



△最大3列の外付けカーテン、ハニカムサーモスクリーンなど暮らしに合わせて、暑さ・寒さ・視界・明るさを適度に調整する